

幸福度 No.1 企業へ

白鷺電気工業株式会社

創 立：1947年2月

所 在 地：熊本市東区御領8丁目3-38

事業内容：電気工事業

従業員数：126名



令和3年11月現在

1. テレワーク導入目的

新型コロナウイルスの影響で、保育園が休園になり出社できない社員のために、以前から出張や現場作業など社外で仕事をするために活用していた「シンクライアント方式」を応用してテレワークを導入。

2. テレワーク形態

- <対象者> 間接部門社員
- <作業場所> 基本は自宅（八代支社をサテライトオフィスとして利用可能）
- <実施のプロセス> 同じ日にテレワーク実施者が多くならないように調整を行っている。
- <使用機器> 会社から貸与のシンクライアントパソコン、スマートフォンを使用。
- < 手当 > 通勤手当は全額支給（テレワーク実施日の減額なし）
※電気・水道・インターネット回線は社員負担

3. 導入にあたっての課題や不安をどう克服したか。

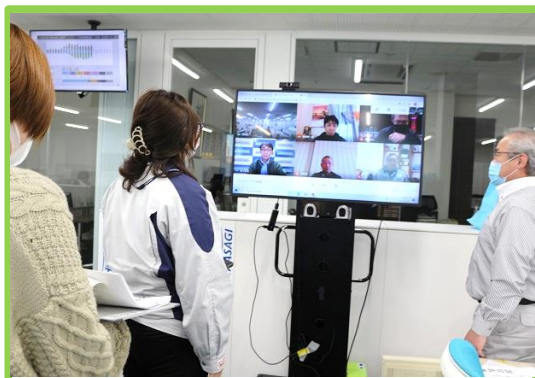
課 題 や 不 安	克 服 方 法
○ 既存の就業規則で対応できるか	・就業規則を改定（テレワーク規定の追加）することで対応
○ 運用まで時間がかかるのでは	・社長からのトップダウンにより、出張者が活用していたシンクライアント方式を応用したことでスピーディーに導入することができた。
○ 社員からの不安（これまでの仕事の進め方と異なるため）	・仕事内容の見直しを行い、テレワークでできる仕事、会社で行う仕事を選別することで効率よく業務を行うことができた。※テレワークの方が集中して業務に取り組めるとの意見も多い。

4. 実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題・不安及び手続きなど	克服方法
○ 生産性について	・役所への届出を電子申請に移行することができた。
○ セキュリティについて	・シンクライアント端末を使用することによりPC内でのデータ保存、端末からの入出力をできないようにしている。
○ 労働時間の管理方法	・ログオン・ログオフのデータ、始業・終業時に行うオンラインミーティングで労働時間を把握している。
○ 電話対応	・会社から貸与している内線通話可能なスマートフォンを使用することにより代表電話に掛かってきた電話をテレワーク実施者に転送が可能に
○ 会議	・本社と支社とは常時モニターで接続されており、会議や打ち合わせはビデオ会議で実施している。

5. 実施後のメリット

- 出社することが難しい労働者（病気・怪我・育児等）がテレワークで就業可能になり、長期間の休業を避けることができる。 ※キャリア中断の短縮
- 本社と支社間移動が少なくなることにより、ガソリン代・高速道路料金の削減ができた。
※通勤時のガソリン使用量も削減できエコロジーに貢献することができる
- テレワークを機に必要に迫られて行った各種手続きの電子申請への移行など電子化の拡大を進めることができた。
- テレワークが社員に好意的に受け入れていただいております、ワークライフバランスを推進することができた。



八代支社サテライトオフィス